

岩柳

岩国総局 ☎0827(21)6780 FAX(21)7745
柳井支局 ☎0820(22)0247 FAX(24)0012
玖珂支局 ☎0827(84)0256 FAX(83)0001
大島支局 ☎0820(72)0212 FAX(79)0005

児童響かす感謝の太鼓

岩国・柱野小 21日「フェスタ」で披露



日々の見守り 思いも発表

フェスタに向けて柱野太鼓の練習に励む児童

地域への感謝を伝えようと、岩国市の柱野小の全校児童12人が21日、同小である「ふれあいスポーツフェスタ」で、30年間受け継がれる「柱野太鼓」を披露する。6年生3人は日々見守つてくれている住民への思いを発表。山あいの小規模校の子どもたちが地域に元気を届ける。(有岡英俊)

柱野太鼓は1991年に表現力を養う目的でスタート。4種類の和太鼓と大型の竹筒を力強く打ち鳴らし、音を重ねていく約5分間の演目だ。児童は4月から週1回、手にまめをつくりながら練習している。

昨年、創立140周年を迎えた同小は、市中心部から南西約7キロの山間部にある、地域は過疎化が進む。85年に86人いた児童数も2000年以降は20人前後で推移。今年、来年は新入生がいない。

それだけに学校運営に住民が関わるコミュニティ・スクールの取り組みが活発で、地域の文化財や災害の歴史、昔遊びなど幅広いテーマを住民から教わる。今年4月には、「熟議」を開

き、柱野の現在や将来を語り合った。

地域行事もなくなる中、フェスタは各世代の交流を深めようと、同小や学校運営協議会がつくる実行委が企画。7回目の今回は、6年の越前真さん、竹村美都さん、浜重希亜さん11人も(12)が6年間の思い出を初めて発表する。3人は「登下校の見守りや運動会での大声援など、地域の人たちがいつもそばにいて、数え切れないくらい支えられている。しっかりと感謝を伝えたい」と当日を心待ちにしている。